

# 地域おこし協力隊

通信

VOL.86

## 農業支援担当 竹中良輔隊員



皆さんこんにちは。問寒別地区の竹中良輔です。

早いもので、地域おこし協力隊になってから4ヶ月経ちました。様々な酪農家の方とお会いし、日々酪農の知識や出来ることが増えてきています。現在は問寒別地区の牧場で農業支援をしております。まだ、多くの町内の農家の方や関係各所の方にはコロナなどの影響もあり、お会い出来ておりませんので、支援期間中にたくさんお会いできるのを楽しみにしております。

現在の支援先では作業の機械化、省力化をされており、牛のお乳を搾る機械（ミルクカー）を自動



で運搬してくれる「キャリロボ」という機械が導入されています。作業の効率化をして、空いた時間などに更に牛を観察する時間を増すことや、他の作業が出来るメリットもあります。これからも様々な酪農の仕事などを学んで自分なりのスタイルを模索していきます。

個人的な話になりますが、実は幌延町に移住してから体重が10kgも落ちました！以前は自堕落な体型でしたので、酪農は生活リズムも整い、身体の不調も減り酪農ダイエットにととても良いです。まだまだ寒い日々が続きますので、町内の皆さまも体調管理には気を付けて今年も乗り切りましょう。

## 農業支援担当 竹中知美隊員



皆さまこんにちは、竹中知美です。

昨年はたくさんの方にお世話になりました。今年も色々な方と交流し、知識も技術も昨年以上のものになるよう尽力しますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、この協力隊通信を書いているのは12月末なのですが、クリスマス寒波と呼ばれる暴風雪が幌延でも猛威を振るいました。元々、旭川の出身なので多少の大雪なら大丈夫だと思っていたのですが、気温が高いためかずっしりと重い雪が何度除雪をしてもびっくりするほど降り積もるので、何度か途方に暮れてしまいました。楽しみにしていたクリスマスケーキも取りに行くのがやっとなので、へとへとになって夫婦で食べたことが記憶に残っております。



問寒別地区町営草地牧場の除雪風景

現在、問寒別地区の町営草地牧場の除雪をトラクターで行っております。最初はバケット部分の水平感覚がつかめずに苦戦しましたが、ようやく慣れてきました。何事も経験なのだ実感しておりますが、クリスマス寒波の際の除雪では雪が重すぎて前に進むことすらできず、泣く泣く帰ってきました。こういった非常事態の際にも対応できるようにたくさん練習していきます。

皆さまも除雪の際には落雪事故などにお気をつけて、こまめな休憩を心掛け、今年の冬を乗り切りましょう！